

EasyBlocks IPv6

ユーザーズガイド

ファームウェア Ver1.1.1 以降に対応



■ 商標について

- Microsoft は、Microsoft Corporation の商標です。
- Microsoft, MS-DOS, Windows, Windows NT, Microsoft Internet Explorer は、米国 Microsoft Corp.の米国およびその他の国における商標または、登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

目次

1. はじめに	4
1.1. 各部の名称	4
1.2. ステータスインジケータの点灯について	5
1.3. INIT スイッチの操作	6
1.4. 出荷時設定情報	7
1.5. 用語解説	8
1.6. サービス量について	8
2. 設置・初期設定	9
2.1. 設置・設定のステップ	9
2.2. 設置方法	10
2.3. 管理インタフェースへの接続	11
2.4. 初期設定	11
3. 管理インタフェース	16
3.1. ダッシュボード	16
3.2. サービス	17
4. 管理サービスの設定	19
4.1. システム	19
4.2. ネットワーク	26
4.3. メンテナンス	29
5. DNS サービスの設定	32
5.1. サービス	32
5.2. 基本	33
5.3. ゾーン	34
5.4. レコード	36
5.5. 設定編集 (サービスタブで直接編集を有効にしたときだけ表示)	38
5.6. ログ	39
5.7. メンテナンス	40
6. DHCP サービスの設定	41
6.1. サービス	41
6.2. 基本 (サーバ)	42

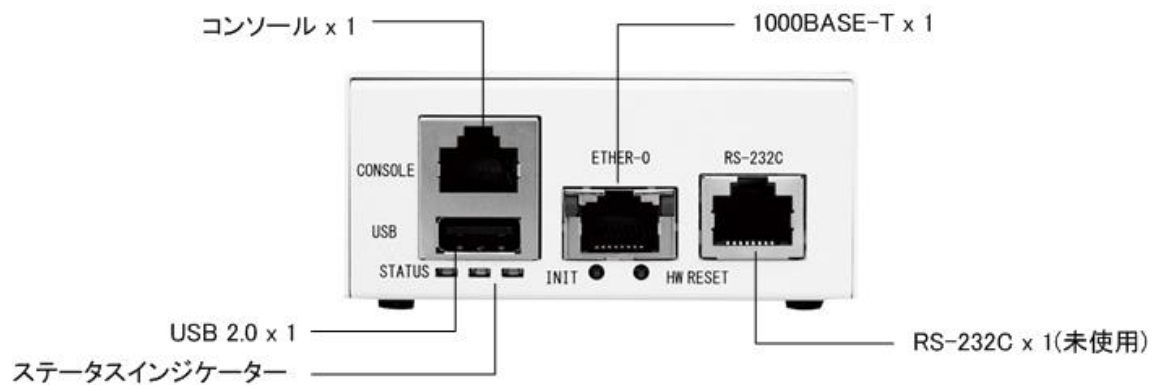
6.3.	サブネット(サーバ)	45
6.4.	ホスト管理(サーバ)	48
6.5.	ログ	50
6.6.	メンテナンス	51
6.7.	設定編集 (サービスタブで直接編集を有効にしたときだけ表示)	52
7.	NTP サービスの設定	53
7.1.	サービス	53
7.2.	基本	54
8.	監視サービスの設定	55
8.1.	サービス	55
8.2.	基本設定	56
8.3.	監視対象	57
8.4.	監視パターン	58
8.5.	監視状況一覧	59
8.6.	通知メール本文	60
8.7.	SNMP Trap	61
8.8.	監視設定追加	61
8.9.	メンテナンス	62
8.10.	設定編集 (サービスタブで直接編集を有効にしたときだけ表示)	62
9.	その他利用方法	63
9.1.	SSH でログイン	63
9.2.	シリアルコンソールでログイン	63

1. はじめに

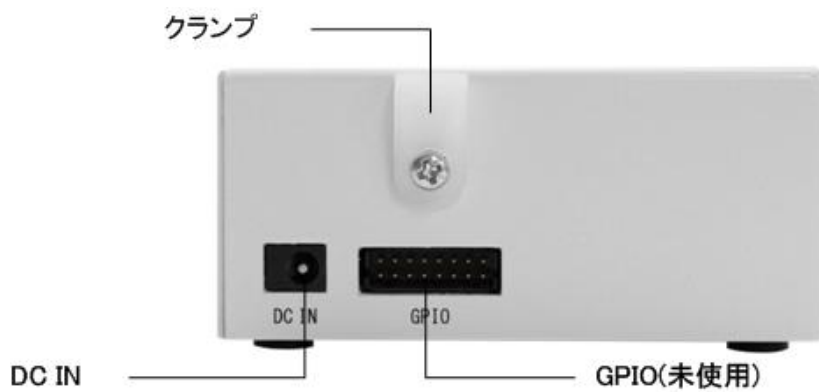
1.1. 各部の名称

1.1.1. 型番 : EBA6/IPV6

■ 前面コネクタ

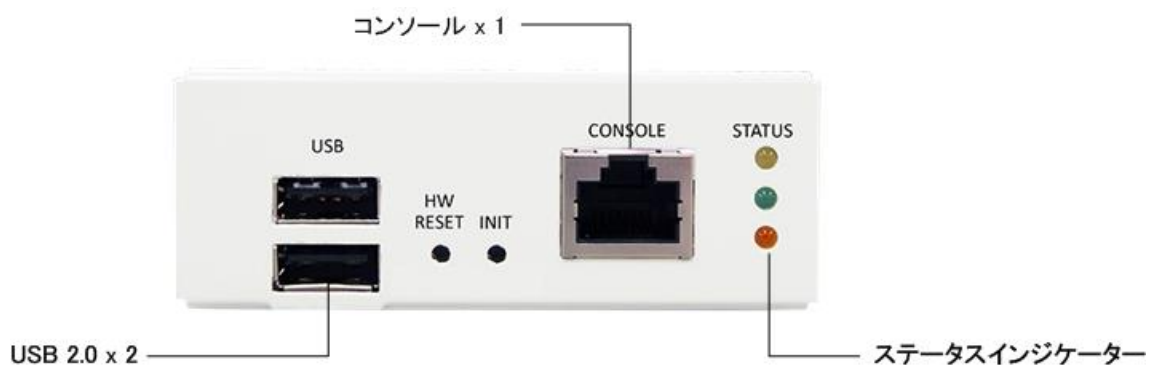


■ 背面コネクタ

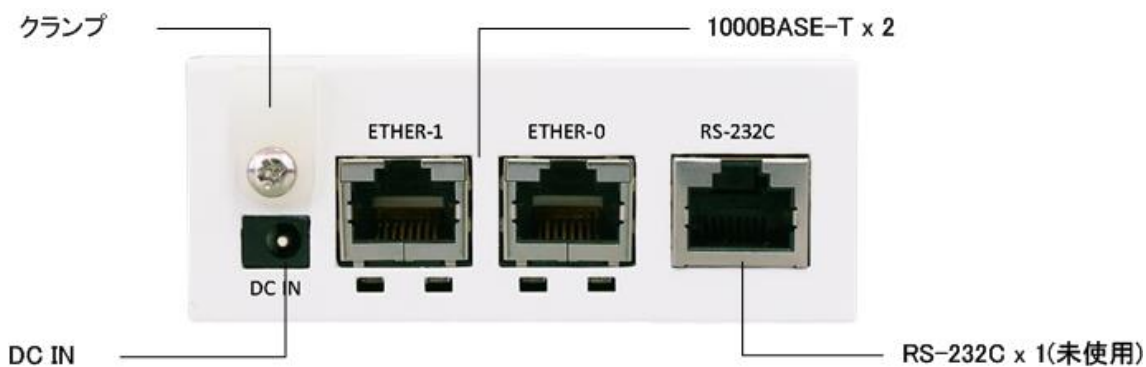


1.1.2. 型番 : EBA7/IPV6

■ 前面コネクタ



■ 背面コネクタ



1.2. ステータスインジケータの点灯について

状態	ステータスインジケータ
停止中	全て消灯しています
稼働中	正常時：緑点滅 Fault 発生：赤点灯 ※Fault はプロセスチェックで判定
停止後(シャットダウン処理後)	黄・緑・赤の 3 色が、全て同時に点滅を繰り返します

1.3. INIT スイッチの操作

INIT スイッチの操作により、初期化起動及び停止・再起動の実行が可能です。

●初期化起動方法

本体 INIT スイッチを押しながら(5 秒程度)電源 ON することにより、出荷状態での設定で起動します。

※実行ログやアプリケーションのインストール情報等は、初期化前の状態となります。

●INIT スイッチでの停止方法

稼働中の状態で INIT スイッチを 5 秒以上(赤色点灯となります)押し続けた後に、スイッチを解放すると停止処理が開始されます。停止完了後は、LED 全色が同時に点滅します。

●INIT スイッチでの再起動方法

稼働中の状態で INIT スイッチを 0~4 秒間(2 秒までは黄色点灯、4 秒までは緑色点灯となります)押し続けた後に、スイッチを解放すると再起動処理が開始されます。

1.4. 出荷時設定情報

1.4.1. IP アドレス

1.4.1.1. 型番 : EBA6/IPV6

インタフェース	IP アドレス	ネットマスク
Ether-0	192.168.253.254	255.255.255.0

1.4.1.2. 型番 : EBA7/IPV6

インタフェース	IP アドレス	ネットマスク
Ether-0	192.168.253.254	255.255.255.0
Ether-1	設定なし	設定なし

1.4.2. WEB I/F の URL

http://192.168.253.254:880/

※ Internet Explorer、Chrome、Firefox 等の最新バージョン利用を推奨します
なお Internet Explorer 8 以下については、対応いたしません

※ WEB I/F では JavaScript を使用しております。ブラウザの設定にて JavaScript を有効にしてください。

1.4.3. WEB I/F の管理者ユーザー

初回アクセス時に、ご自身で設定していただけます。

1.4.4. シリアルコンソール/SSH 用 管理者ユーザー

シリアルコンソールや SSH でのアクセスをしなくとも運用管理は可能ですが、必要な場合は以下の ID・パスワードを使用してください。なおパスワードは WEB I/F から変更が可能です。

ID	root
パスワード	root

1.5. 用語解説

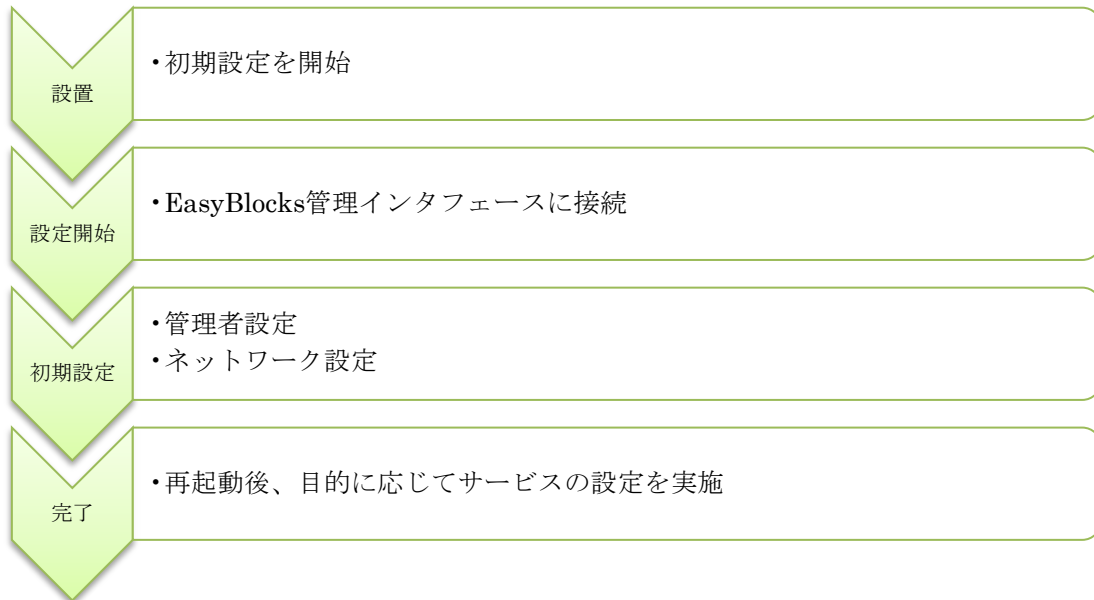
用語	説明
EasyBlocks システム	基盤機能の総称
管理インタフェース	EasyBlocks システム及び各種サービスを設定するための WEB I/F
サービスネットワーク(既存 LAN)	クライアント向けに、DNS や DHCP 等の各種機能をサービスするためのネットワーク 単にネットワークと記述した場合は、サービスネットワークのことを指している
XXX サービス	XXX には、DNS、DHCP、NTP、監視が入る

1.6. サービス量について

ハードウェアスペック以上のサービスを適用すると正常にサービス提供を行えない恐れがあります。そのため、過剰なサービス有効化は行わないでください。

2. 設置・初期設定

2.1. 設置・設定のステップ



2.2. 設置方法

Ether-0 を既存 LAN 環境に接続します。ただし、初期設定中は、クロスケーブル等で設定用 PC と接続してください。

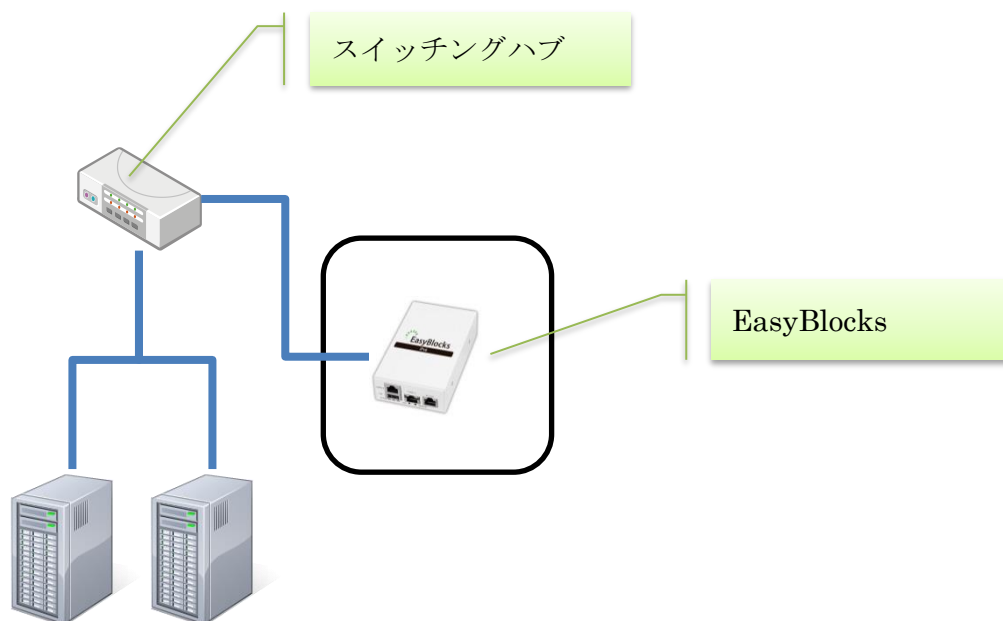


図 2-a 単独構成

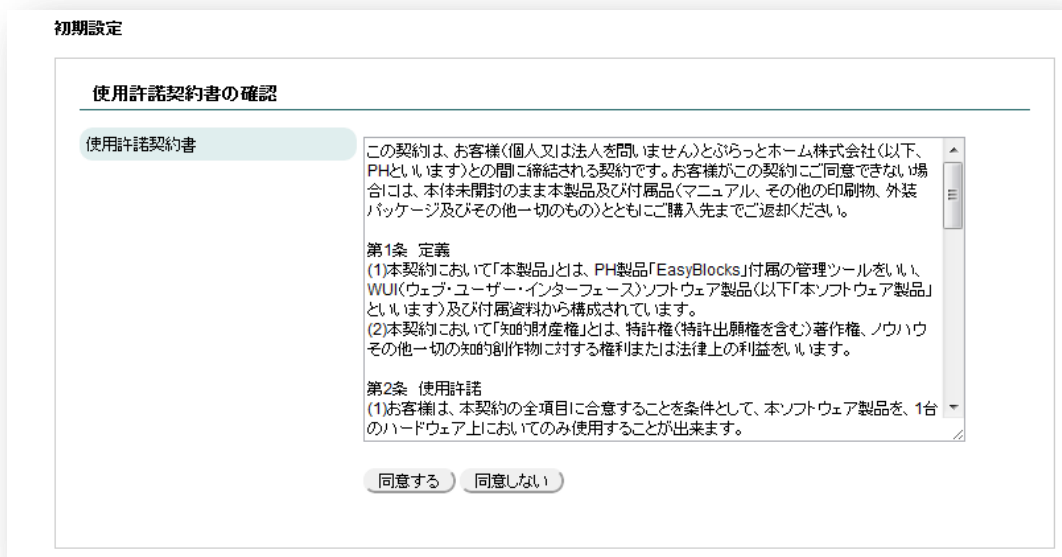
2.3. 管理インタフェースへの接続

Ether-0 に対して、設定用の PC を接続してください。1.4 出荷時設定情報に記載の通り、次の URL で管理インタフェースを表示することが可能です。

Ether-0 : <http://192.168.253.254:880/>

2.4. 初期設定

管理インタフェースを表示すると、初期設定画面が表示されます。



使用許諾契約書に同意することで、設定項目が表示されます。

初期設定

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書

管理者アカウント

ユーザー名

パスワード

パスワード (確認)

メールアドレス (?)

サポートデスク

アカウント (?) アカウント: パスワード:

操作

ユーザー名 :	管理インタフェースへのログインに使用します アルファベット(A-Z,a-z)及び数字が使用できます
パスワード :	同用途のパスワードです
パスワード(確認) :	同用途のパスワード確認用です
メールアドレス :	メール通知を使用する場合の通知先です(必要な場合のみ)
サポートデスク :	サポートデスク加入者に発行されるアカウント アップデートは、このアカウントが有効な場合のみダウンロード可

これらを設定後、保存することで次の画面に進みます。

※EBA7/IPV6 モデルではサービスネットワーク 1 の項目が表示されます。

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。

基本 詳細 ルーティング ルーティング(IPv6)

サービスネットワーク (2)

選択したI/FやDNS等のネットワーク設定は、各種サービスで共通の内容として利用します。

I/Fの選択 (2)

ホスト名 (2)

ドメイン名 (2)

IPアドレス /

IPアドレス(IPv6) /

デフォルトゲートウェイ (2)

デフォルトゲートウェイ(IPv6)

DNSサーバ

DNSサーバ(IPv6)

操作

※EBA7/IPV6 モデルではサービスネットワーク 1 の項目が表示されます。

I/F の選択	サービスネットワークに使用する I/F を選択します
ホスト名	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
IP アドレス	サービスネットワークに参加する際の IP アドレス 「/」以降の項目には、ネットマスクをビット表記で入力します。 一般的な 255.255.255.0 であれば「24」となります。 ※管理インタフェースを、サービスネットワークから接続する場合や、オンラインアップデートに使用します。
IP アドレス(IPv6)	サービスネットワークに参加する際の IPv6 アドレス 「/」以降の項目には、プレフィックス長を入力します。 ※「アドバタイズ情報を取得」ボタンにてルーター等から設定されている IPv6 アドレスが設定されます。
デフォルトゲートウェイ	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
デフォルトゲートウェイ(IPv6)	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイの IPv6 アドレス ※「アドバタイズ情報を取得」ボタンにてルーター等から設定されている IPv6 アドレスが設定されます。

DNS サーバ	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバのアドレス
DNS サーバ (IPv6)	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバの IPv6 アドレス

これらを設定後、保存することで画面上に再起動の案内が表示されます。リンクをクリックすることで、再起動画面に移動します。

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。
設定を保存しました

設定を反映するには、再起動が必要です。

基本 詳細 ルーティング ルーティング (IPv6)

ダッシュボード サービス システム ネットワーク **メンテナンス** 技術情報

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。
設定を反映するには、再起動が必要です。

設定 システムの更新 停止・再起動 サポート

停止・再起動

停止 (?) ボタンを表示/非表示

再起動 (?) 実行

再起動の実行ボタンをクリックすることで、再起動が可能です。

システム全体の概要

管理サービス	サービスノード 稼働状況マップ
<p>ネットワーク 設定</p> <p>FQDN: easyblocks.example.org</p> <p>IPアドレス: 172.16.7.203</p> <p>ゲートウェイ: 172.16.7.1</p> <p>IPアドレス(IPv6): 2409:10:320:0:20a:85ff:fe08:203</p> <p>ゲートウェイ(IPv6): fe80::2a0:defff:fe33:cb7f</p> <p>MASTERノード</p> <p>Hostname: n0005c7</p> <p>LOAD AVERAGE: 1.73, 0.79, 0.30</p> <p>MEM: 44 %</p> <p>STORAGE: 2%</p>	<p style="text-align: center;">. 管理</p> <p>n0005c7 Act</p>
<h4>動作ログ</h4> <pre> Aug 29 15:36:55 n0005c7 NTPサービスを再起動しました。(n0005c7) Aug 29 15:42:47 n0005c7 ノード「n0005c7」が停止又は再起動を開始しました Aug 29 15:45:34 n0005c7 単独動作モードで開始しました </pre>	

再起動が完了し、設定した IP アドレスの WEB I/F へアクセスしログインすると上記画面に移動します。以降は目的に応じて、サービスの設定を実施してください。

3. 管理インタフェース

管理インタフェースの基本的な画面構造について解説します。

3.1. ダッシュボード

①

EasyBlocks IPv6

② ID: admin (権限: 全体) でログインしています。 | [ログイン](#) | [ログアウト](#)

ダッシュボード サービス システム ネットワーク メンテナンス 技術情報

システム全体の概要

管理サービス

ネットワーク (既定)

FQDN: easyblocks.example.org
IPアドレス: 172.16.7.206
ゲートウェイ: 172.16.7.1
IPアドレス(IPv6): 2409:10:320:0:20a:85ff:fe08:42ca
ゲートウェイ(IPv6): fe80::2a0:deff:fe33:cb7f

MASTERノード

Hostname: n08041b
LOAD AVERAGE: 0.01, 0.04, 0.05
MEM: 33 %
STORAGE: 6%

サービス/ノード稼働状況マップ

	管理	DNS	DHCP	NTP
n08041b	Act	-	-	-

動作ログ

Aug 5 18:58:31 n08041b NTP (1) サービスの設定を再ロードしました。(n08041b)
Aug 8 13:28:27 n08041b ノード「n08041b」が停止又は再起動を開始しました
Aug 8 13:29:19 n08041b ノード「n08041b」がシステム更新を終了しました(3/3)
Aug 8 13:29:20 n08041b 冗長化(Act-Stb)モードで開始しました
Aug 8 13:29:20 n08041b ノード「n08041b」が起動しました
Aug 8 13:29:33 n08041b ノード「n08041b」が管理サービスのMASTERになりました
Aug 8 16:06:33 n08041b 単独動作モードで開始しました
Aug 8 16:06:36 n08041b ノード「n08041b」が起動しました

③

④

⑤

① メニュータブ

白抜きの部分が表示中の項目です

ダッシュボード：システム全体の概要を表示します

サービス：各種サービス設定へのリンク

システム：冗長化の動き、管理者ユーザーの設定等

ネットワーク：管理サービスのネットワーク設定

メンテナンス：アップデートや再起動等

② ログイン中の管理者を表示

③ 管理サービスの状態を表示

④ サービスとノードの稼働状況を表組みして表示

⑤ 動作中の最新ログを表示

3.2. サービス



① 有効なサービスと利用可能なサービスを表示

出荷時に有効に設定してあるサービスは、購入するモデルによって異なります。初期状態で無効な場合でも、利用可能なサービスモジュールから有効に設定することで、画面上に表示されます。

※ハードウェアスペック以上のサービスを適用すると、動作が安定しない恐れがありますので、過剰にサービスを有効にしないでください。



② メニュータブ

サービス設定の画面では、メニュータブが変更されます。メニューの項目は、有効にしてあるサービスが並びます。

4. 管理サービスの設定

4.1. システム

4.1.1. 基本

基本 詳細 OSユーザー WEB管理者 マイページ EasyBlocks

メール通知 (?)

通知を行う はい いいえ

SMTPサーバ (2) 1. () 2. () 3. () SMTP Authを使う TLS/SSLを使う

送信元メールアドレス ()

SMTPサーバの外部公開 (2) はい いいえ

Syslog通知 (?)

通知を行う はい いいえ

Syslogサーバ 1. () 2. () 3. ()

ファシリティ (local3 ▼)

時刻設定 (?)

タイムゾーン (Asia/Tokyo ▼)

PCと時刻を同期 (2) 2014/08/29 14:27:38 [同期]

ntpサーバ1 (2) () () () () オプションを使う

ntpサーバ2 () () () () オプションを使う

ntpサーバ3 () () () () オプションを使う

ntpサーバ4 (IPv6) () () () () オプションを使う

ntpサーバ5 (IPv6) () () () () オプションを使う

ntpサーバ6 (IPv6) () () () () オプションを使う

操作

保存

◆ メール通知

通知を行う	対応サービスのメール通知機能を利用する場合に設定する
SMTP サーバ	3 台まで設定可能
SMTP Auth	SMTP サーバに対応するアカウント情報を入力
送信元メールアドレス	通知時の送信元に指定するアドレス
SMTP サーバの外部公開	管理サービスの IP アドレス(ポート 25 番)で、リレー専用の SMTP サーバとして利用できます

※ 送信先アドレスは、管理者ユーザーのなかでメールアドレス設定があるアカウントすべてを指定して送信します

◆ Syslog 通知

通知を行う	稼働通知や各サービスからの Syslog 通知を行うかどうか
Syslog サーバ	3 台まで設定可能
ファシリティ	LOCAL0~LOCAL7 の中から選択

◆ 時刻設定

タイムゾーン	設置場所のタイムゾーン又は UTC を選択出来ます
PC と時刻を同期	操作用 PC の時刻情報を装置におくり反映させます
NTP サーバ	3 台まで設定可能 指定した NTP サーバの他、管理サービスのマスターノードのハードウェアクロック(RTC)の時刻を配信します
NTP サーバ(IPv6)	3 台まで設定可能 指定した NTP サーバの他、管理サービスのマスターノードのハードウェアクロック(RTC)の時刻を配信します

※ NTP サーバにて設定可能なオプションは “burst” , “iburst” , “prefer” , “key” , “minpoll” , “maxpoll” , “ttl” , “version” となります。

4.1.2. 詳細

The screenshot shows a web interface with a navigation bar at the top containing tabs: 基本, 詳細, OSユーザー, WEB管理者, マイページ, and EasyBlocks. The main content area is titled 'リモート管理' and is divided into several sections:

- リモート管理**: Contains an 'SSH' setting with a radio button selected for 'はい' (Yes).
- ストレージ管理**: Contains a 'セルフチェック' (Self-check) setting with a radio button selected for 'はい' (Yes), and a '閾値(%)' (Threshold) input field set to '80'.
- リソース管理**: Contains an 'SNMP' setting with a radio button selected for 'はい' (Yes).
- レポート情報 (?)**: Contains four input fields:
 - OS基本部分 (?):
 - セキュリティアップデート (?):
 - EasyBlocksシステム (?):
 - サポートデスクアカウント (?):
- 操作**: Contains a '保存' (Save) button.

◆ リモート管理

SSH	サービスネットワークからの SSH を許可します
-----	--------------------------

◆ ストレージ管理

セルフチェック	セルフチェックを行うかを指定
閾値	ストレージ容量のアラートを出す割合を指定します

◆ リソース管理

SNMP	SNMP によるリソース情報の参照に応答します
SNMP Community	SNMP のコミュニティを設定します

◆ リポジトリ情報

OS 基本部分	ベース OS として利用している Debian のリポジトリを指定
セキュリティアップデート	ベース OS のセキュリティアップデート
EasyBlocks システム	EasyBlocks 関連のリポジトリを指定
サポートデスクアカウント	サポートデスク加入者向けに発行されるアカウント アカウントが有効な場合のみ、アップデートのダウンロード可

4.1.3. OS ユーザー

基本 詳細 OSユーザー WEB管理者 マイページ

追加・変更

ユーザー名

パスワード (2)

管理者グループ (2) 非所属 所属

操作

保存 クリア

一覧

ユーザー名	管理者グループ	操作
root	所属	パスワード変更

ユーザー名	SSH 等、OS に直接ログインする場合のユーザーアカウントです
パスワード	SSH 等、OS に直接ログインする場合のユーザーアカウントに対応するパスワードです
管理者グループ	所属に設定することで、「sudo -s」で root ユーザーになります

4.1.4. WEB 管理者

追加・変更

ユーザー名 (2)

パスワード

メールアドレス (2)

権限 (2) 全体 サービス限定 参照のみ

操作

一覧

ユーザー名	権限	割当サービス	操作
admin (admin@...)	全体	全て	編集 / 削除
test (test@...)	参照のみ		編集 / 削除

ユーザー名	管理インターフェースのためのユーザーアカウントです
パスワード	管理インターフェースのためのユーザーアカウントに対応するパスワードです
メールアドレス	対応サービスの通知機能での宛先に利用します
権限	すべての設定変更が可能な「全権」、サービス限定で変更が可能な「サービス限定」、参照のみ可能な「参照のみ」があります。 「全権」以外では、対象のサービスを選択する画面が追加表示されます。

4.1.5. マイページ

登録情報の変更

ユーザー名

パスワード

メールアドレス (2)

操作

ユーザー名	ログイン中のアカウントの登録情報を編集するため、ユーザー名は変更できません
パスワード	変更する場合のみ入力してください
メールアドレス	指定が必要な場合に入力してください

4.1.6. EasyBlocks



バージョン及び使用許諾/ライセンスを表示する

4.2. ネットワーク

4.2.1. 基本

サービスネットワーク (?)

選択したI/FやDNS等のネットワーク設定は、各種サービスで共通の内容として利用します。

I/Fの選択 (?)	(Ether-0 ▾)
ホスト名 (?)	easyblocks
ドメイン名 (?)	example.org
IPアドレス	(192. (168. (10. (250 / (24 (?)
IPアドレス(IPv6)	2409:10:320:0:20a:85ff:fe08:42c / (64 アドバタイズ情報を取得
デフォルトゲートウェイ (?)	(192. (168. (10. (1
デフォルトゲートウェイ(IPv6)	fe80::2a0:deff:fe33:cb7f
DNSサーバ 追加	(192. (168. (10. (1 (8. (8. (8. (8 削除
DNSサーバ(IPv6) 追加	2001:4860:4860::8888 2001:4860:4860::8844 削除

◆ サービスネットワーク (Ether-0)

I/Fの選択	サービスネットワークに使用する I/F を選択します
ホスト名	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
IP アドレス	サービスネットワークに参加する際の IP アドレス 「/」以降の項目には、ネットマスクをビット表記で入力します。 一般的な 255.255.255.0 であれば「24」となります。 ※管理インタフェースを、サービスネットワークから接続する場合や、オンラインアップデートに使用します。
IP アドレス(v6)	サービスネットワークに参加する際の IPv6 アドレス 「/」以降の項目には、プレフィックス長を入力します。
デフォルトゲートウェイ	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
デフォルトゲートウェイ(IPv6)	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークの IPv6 ゲートウェイアドレス
DNS サーバ	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバの IP アドレス

DNS サーバ(IPv6)	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバの IPv6 アドレス
---------------	---

◆ サービスネットワーク (Ether-1) ※EBA7/IPV6 モデルのみ表示されます。

使用する	はい / いいえ で選択
IP アドレス	当該インタフェースに割り当てる IP アドレスを指定
IP アドレス(IPv6)	当該インタフェースに割り当てる IPv6 アドレスを指定

4.2.2. 詳細

◆ Proxy サーバ

アドレスポート	必要な場合に、アドレスとポート番号を入力してください
BASIC 認証	必要な場合に、ユーザーID・パスワードを入力してください

4.2.3. ルーティング

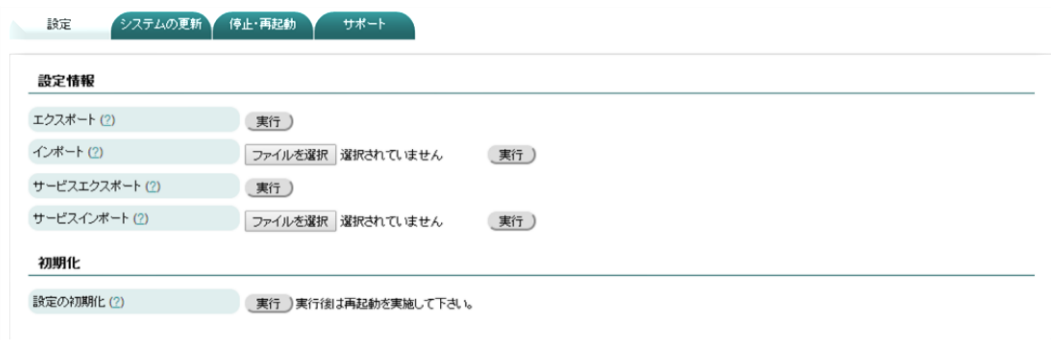
ネットワークアドレス	宛先のネットワークアドレス、ネットマスクを入力します
ゲートウェイ	利用するゲートウェイのアドレスを入力します

4.2.4. ルーティング(IPv6)

ネットワークアドレス	宛先の IPv6 ネットワークアドレス、プレフィックス長を入力します
ゲートウェイ	利用するゲートウェイの IPv6 アドレスを入力します
インターフェース	ルーティング対象のインターフェースを選択します。

4.3. メンテナンス

4.3.1. 設定



エクスポート	EasyBlocks 全体の設定をエクスポート
インポート	EasyBlocks 全体の設定をインポート
サービスエクスポート	EasyBlocks 全体の設定及び config ファイル等をエクスポート

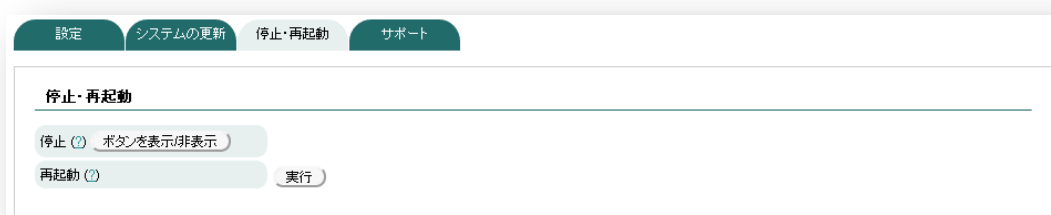
サービスインポート	EasyBlocks 全体の設定及び config ファイル等をインポート
設定の初期化	実行により、次回起動時に初期状態で起動します

4.3.2. システムの更新



定時にアップデートチェック	指定した時間に更新の有無をチェックします アップデートがある場合は、メールにて通知します 「アップデートを自動的に適用する」が有効な場合、更新も指定時間に実行します。
今すぐアップデート	アップデートのチェックと実行を行います。 アップデート実行は、再起動ありとなしのボタンで選択できます。
オフラインアップデート	オフラインアップデート用のファイルを送付することで、インターネット接続がなくてもアップデートを実行します。実行に当たっては、再起動が実施されます。

4.3.3. 停止・再起動



停止	システム全体を停止します
再起動	システム全体を再起動します

4.3.4. サポート

設定 システムの更新 停止・再起動 サポート

問い合わせ先

対応時間 月～金曜日 9:30-18:00 ※ 祝祭日・年末年始を除く

TEL 03-5213-4372

FAX 03-3221-0882

E-Mail support@plathome.co.jp

ログ・環境情報取得

ダウンロード

問い合わせ先	弊社サポートの連絡先を記載しております。
ログ・環境情報取得	不具合等の問い合わせ時には、こちらでダウンロードした情報をお送り下さい。状況確認の参考にさせていただきます。ダウンロードできるデータは、tar + gzip 形式でありご自身で内容をご確認いただくことも可能です。

5. DNS サービスの設定

5.1. サービス

サービスについて

起動 有効 無効

設定を直接編集する はい いいえ

プロセス操作

操作

動作ログ

```
Jul 17 14:44:28 n070307 単独動作モードで開始しました
Jul 17 14:44:30 n070307 ノード「n070307」が起動しました
Jul 17 14:45:32 n070307 ノード「n070307」が停止又は再起動を開始しました
Jul 17 14:46:30 n070307 単独動作モードで開始しました
Jul 17 14:46:32 n070307 ノード「n070307」が起動しました
```

DNS サービスは、IPv4 アドレスを設定していない場合、動作が遅くなる場合があります。

◆ サービスについて

起動	起動するかどうか
設定を直接編集する	WEB I/F での設定項目では不足の場合など、設定を直接編集したい場合に設定
プロセス操作	再起動または設定のリロード

5.2. 基本

◆ フォワード

利用方法	コンテンツサーバ、キャッシュサーバ、コンテンツ兼キャッシュサーバから用途を選択
再起問い合わせ	フォワードを行う場合には、必要になります キャッシュサーバとして使用する場合は、自動的に有効が選択されます。
ルートヒントファイル	上位 DNS を使用せずに、インターネット上のドメインの名前解決をする場合には必要になります
フォワード先	フォワード先の DNS サーバ
フォワード先(IPv6)	フォワード先の DNS サーバ(IPv6 アドレス指定)

◆ アクセス制御

クエリー送信元	すべて、所属ネットワークのみ、指定のみが選択可能
再起クエリー送信元	すべて、所属ネットワークのみ、指定のみが選択可能
キャッシュアクセス	すべて、所属ネットワークのみ、指定のみが選択可能

※指定のみを選択した場合は、複数のネットワークを設定可能となります。

5.3. ゾーン

サービス 基本 ゾーン レコード メンテナンス

ゾーン設定

ゾーンのタイプ マスター スレーブ フォワード

ドメイン名

IPv4設定

ネットワークアドレス

ネットワークマスク

登録するレコード 正引きが逆引き 正引きのみ

逆引き表現

IPv6設定

ネットワークアドレス

登録するレコード 正引きが逆引き 正引きのみ

逆引き表現

マスター設定

IPv4設定

ゾーン転送のアクセス制限

IPv6設定

ゾーン転送のアクセス制限

ゾーン一覧

ドメイン名	ネットワークアドレス(IPv4)	登録レコード(IPv4)	ネットワークアドレス(IPv6)	登録レコード(IPv6)	操作
-------	------------------	--------------	------------------	--------------	----

◆ ゾーン設定

ゾーンのタイプ	マスター、スレーブ、フォワードが選択可能
ドメイン名	ドメイン名を入力
IPv4 設定	
ネットワークアドレス	対応するネットワークアドレスを入力
ネットマスク	対応するネットワークアドレスのネットマスクを入力
登録するレコード	正引き/逆引き、正引きのみが選択可能 正引き/逆引きでは、正引きの内容から逆引き設定を自動生成します
逆引き表現	/24 よりも小さなネットワークにおける、様々な記述方法を選択することができます 選択候補にない場合は、次のようなフォーマットで定義可能です 表記例) %4/%m.%3.%2.%1.in-addr.arpa. %1 - ネットワークアドレスの 1 番目の数字。%2、%3、%4 に続く。 %m - ネットマスクのビット表記 %b - アドレスレンジの最初、%e - アドレスレンジの最後
IPv6 設定	
ネットワークアドレス	対応するネットワークアドレスを入力
登録するレコード	正引き/逆引き、正引きのみが選択可能 正引き/逆引きでは、正引きの内容から逆引き設定を自動生成します
逆引き表現	“*.ip6.arpa.”固定

5.4. レコード

サービス 基本 ゾーン レコード メンテナンス

対象ドメインの選択

選択

SOA設定

DNSサーバーのホスト名

管理者のメールアドレス

TTL(キャッシュ有効期限)

Refresh(更新間隔)

Retry(リトライ間隔)

Expire(レコード有効時間)

Minimum(キャッシュ有効期限)

レコード設定

名前

種別

値

レコード一覧

名前	種別	値	操作
	NS	easyblocks.hqlabo.plathome	編集 / 削除
easyblocks	A	12.34.56.78	編集 / 削除

◆ 対象ドメインの選択

選択

ゾーン画面で設定したドメインを選択できます
選択することで、下部の SOA レコードなどの情報が表示されます

◆ SOA レコード

DNS サーバのホスト名	DNS サービスに指定した IP アドレスに対応するホスト名をドメインを含めた形式(FQDN)で記入します
管理者のメールアドレス	同ドメインの管理者メールアドレス
TTL	キャッシュの有効期間
Refresh	更新間隔
Retry	リトライ間隔
Expire	レコードの有効期間
Minimum	ネガティブキャッシュの有効期間

◆ レコード設定

名前	各レコードに指定する名前(A レコードにおけるホスト名など)
種別	A/CNAME/MX/NS/AAAA/TXT レコードを選択可能
値	各レコードに指定する値(A レコードにおける IP アドレスなど)

5.5. 設定編集（サービスタブで直接編集を有効にしたときだけ表示）

サービス
設定編集
メンテナンス

ファイルの選択

注意 設定の記述、内容の検証が完了したのちに、サービスタブでサービスを有効にしてください。

必須ファイル (2) `named.conf` (このファイルを必ず作成してください。これ以外ではサービスの起動が行えません。)

WEB I/Fで作成した設定をコピー (2)

候補 `named.conf` このファイルは削除できません

設定の検証 (2) `named-checkconf`

編集

```
options {
    directory "/var/easyblocks/apps/admin/config/userconf/dns/namedb";
    pid-file "/var/run/named/named.pid";
    allow-query { any; };
    allow-query-cache { any; };
    allow-recursion { any; };
    forward only;
    forwarders { 172.16.14.10; 202.32.197.36; 202.32.197.38; };
    recursion yes;
};
include "/etc/bind/named.conf.default-zones";
include "/etc/bind/rndc.key";
include "/etc/easyblocks/conf/named.logging.conf";
```

編集上の注意

- * optionsのdirectoryおよびpid-fileは変更不可
- * slaveのゾーンファイルの指定は、`/var/easyblocks/apps/dns/slave`以下をフルパスで指定すること

操作

◆ ファイルの選択

WEB I/F で作成した設定をコピー	直接編集時のひな形として、WEB I/F で作成した内容をコピー
候補	編集するファイルを選択または新規作成
設定の検証	設定の検証ツールが存在する場合に表示

5.6. ログ

システム設定で Syslog 通知が有効な場合に”Syslog 設定”が表示されます。

取得内容

基本情報 (2) はい いいえ

クエリー (2) はい いいえ

Syslog設定

送信先 システムと同じ

ファシリティ daemon ▼

本体内部ログ

ログ取得 はい いいえ

表示

選択 (選択したものを表示します ▼)

操作

保存

基本情報	起動・終了などの基本的な情報
クエリー	受け付けたクエリー送信元、問い合わせ内容等
送信先	システム設定と同じもの利用します (個別設定不可)
ファシリティ	ログ出力時のファシリティ
ログ取得	本体内のログファイルに取得するかどうかを設定します
選択	表示するログファイルを選択します。

5.7. メンテナンス



エクスポート	DNS の設定のみをエクスポートします
インポート	DNS の設定のみをインポートします

6. DHCP サービスの設定

6.1. サービス

サービス 基本 サブネット ホストリスト 配布状況一覧 ログ メンテナンス

サービスについて

起動 (2) 有効 無効

動作モード サーバ リレーエージェント

設定を直接編集する (2) はい いいえ

プロセス操作 (2) ※DHCPサービスでは、設定のリロードのためにプロセスの再起動が行われます

操作

動作ログ

Jul 17 14:44:30 n070307 ノード「n070307」が起動しました
Jul 17 14:45:32 n070307 ノード「n070307」が停止又は再起動を開始しました
Jul 17 14:46:30 n070307 単独動作モードを開始しました
Jul 17 14:46:32 n070307 ノード「n070307」が起動しました
Jul 18 11:09:05 n070307 DHCPサービスを有効にしました

◆ サービスについて

起動	起動するかどうか
動作モード	DHCP サーバとして使用する場合は「サーバ」を、DHCP リレーエージェントとして使用する場合はリレーエージェントを選択
設定を直接編集する	WEB I/F での設定項目では不足の場合など、設定を直接編集したい場合に設定

6.2. 基本 (サーバ)

サービス 基本 サブネット ホスト管理 ログ メンテナンス

DHCPサーバ設定

動作オプション

割り当て前Pingチェック 有効 無効

Ether-0

IP配布 有効 無効

操作

保存

◆ 割り当て前 Ping チェック

割り当て前 Ping チェック	払い出す IP アドレスが既に使われているかどうかを確認するために、事前に Ping を実行する機能 通常、DHCP クライアントは使用する IP アドレスの重複確認と再取得を行います。重複確認を行わない端末が存在する場合や再取得が正常に行えない可能性がある場合は有効にしてください。よくわからない場合は、有効にしてください。
-----------------	--

◆ インターフェース(使用インターフェースが表示)

IP 配布	IP アドレスの払い出しを行うインターフェースの場合は有効にしてください。
-------	---------------------------------------

全てのインターフェースを無効にした場合、DHCP サーバとして使用する想定ではない為、警告が発生します。

また、有効なインターフェースに対するサブネット定義を作成していない場合、警告がでます。そのため、対象となるサブネット定義を作成してください。

6.2.1. 基本(リレーエージェント)



サービスタブの動作モードをリレーエージェントに設定すると、DHCP リレーエージェントの設定を行う事が可能になります。DHCP リレーエージェントとは、異なるサブネットに属する DHCP サーバと DHCP クライアントの通信を中継する装置です。

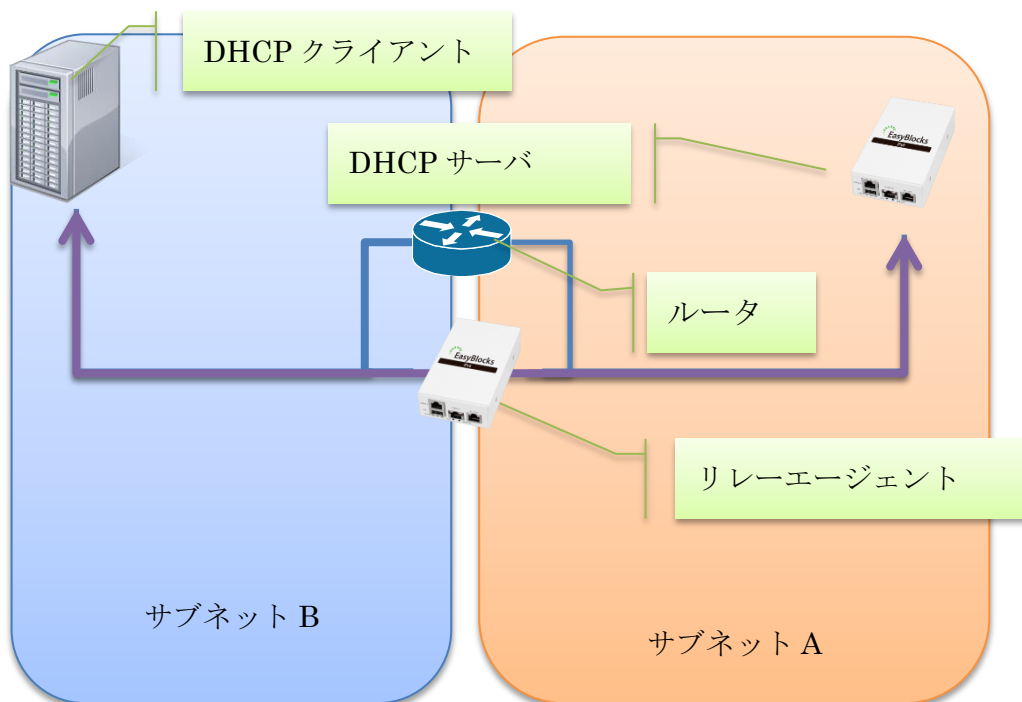


図 6-a DHCP リレーエージェント

◆ DHCP リレーエージェント設定

リレーインターフェース	DHCP クライアントから DHCP メッセージを受け取る インターフェースを指定
リレー先 DHCP サーバ	DHCP サーバの IP アドレスを設定

◆ サブネット追加

ネットワークアドレス	当該サブネットのネットワークアドレスを指定してください。動的 IP を配布しない場合には、チェックボックスを有効にしてください。
ネットマスク	当該サブネットのサブネットマスクを指定してください。Subnet Mask に反映させる値です。
割り当てポリシー	<p>● 全て許可 全ての DHCP クライアントからの払い出し要求に応えます。</p> <p>● ホスト管理で割り当てポリシーを対象に設定したホストのみ許可 ホスト管理設定にて割り当てポリシーを"対象"と設定した端末からの払い出し要求のみに応えて IP アドレスを払い出します。ただし、割り当てポリシーを対象と設定しなかった端末であっても、DHCP INFORM に対する応答は行います</p> <p>● ホスト管理で割り当てポリシーを対象に設定したホストは拒否 ホスト管理設定にて割り当てポリシーを"対象"と設定した端末からの払い出し要求のみに応えて IP アドレスを払い出しせん。ただし、割り当てポリシー対象の端末であっても、DHCP INFORM には対する応答は行います</p>
範囲	払い出す IP アドレスの範囲を指定します。 1 つのサブネットにつき最大で 8 個範囲を設定可能です。 ※ホストに固定で設定している IP アドレスと固定 IP アドレス払い出し設定に使用している IP アドレスは含まないようにしてください。
ドメインネーム	当該サブネットのドメインネームを設定してください。Domain Name Option に反映させる値です。
デフォルトゲートウェイ	当該サブネットのデフォルトゲートウェイを指定してください。Router Option に反映させる値です。
DNS サーバ	当該サブネットで使用する DNS サーバのアドレスを設定してください。Domain Name Server Option に反映させる値です。 最大で 8 個設定可能です。

標準リース時間	<p>一般的に default lease time と呼ばれる値です。default lease time は DHCP クライアントから明示的にリース時間を要求されない場合に使用するリース時間です。IP Address Lease Time Option に反映させる値です。</p> <p>自動的に更新処理が行われますので、リース時間経過後に使用できなくなるわけではありません。</p> <p>“30 分”, “1 時間”, “6 時間”, “12 時間”, “1 日”, “3 日”, “1 週間”, “カスタム” から選択します。カスタム時は値を設定してください。</p>
最大リース時間	<p>DHCP クライアントから明示的にリース時間を要求された場合に許容できる最大のリース (払い出し) 時間です。</p> <p>自動的に更新処理が行われますので、リース時間経過後に使用できなくなるわけではありません。</p> <p>“30 分”, “1 時間”, “6 時間”, “12 時間”, “1 日”, “3 日”, “1 週間”, “カスタム” から選択します。カスタム時は値を設定してください。</p>
WINS サーバ	<p>WINS サーバの IP アドレスを設定してください。</p> <p>NetBIOS over TCP/IP Name Server Option に反映させる値です。</p> <p>最大で 8 個設定可能です。</p>
WPAD URL	<p>WPAD の Proxy URL を設定してください。本項目の設定値 WPAD Option (Code252) に反映させる値です。</p>

6.4. ホスト管理(サーバ)

閲覧を選択するとホスト情報を一覧表示する事ができます。編集を選択するとホスト情報を編集する事が出来ます。全表示、設定、リース情報から選択する事によって、表示する列を変更することができます。

部署	使用者	MACアドレス	割当ポリシー	固定IPアドレス	ホスト名	リースIPアドレス	有効期限
技術部	東堂川 次郎	00:00:00:00:00:00	対象	172.16.7.91	-	-	-
技術部	淀川 太郎	00:00:00:00:00:01	対象外	172.16.7.92	-	-	-
営業部	城東 太郎	00:00:00:00:00:06	対象				
営業部	東成 太郎	00:00:00:00:00:07	対象外				
営業部	生野 太郎	00:00:00:00:00:08	対象				
営業部	平野 太郎	00:00:00:00:00:09	対象外				
営業部	東住吉 次郎	00:00:00:00:00:0a	対象外				
営業部	阿倍野 次郎	00:00:00:00:00:0b	対象外				
人事部	住吉 太郎	00:00:00:00:00:0c	対象外				
人事部	住之江 次郎	00:00:00:00:00:0d	対象外				

部署	DHCP クライアントの使用者の部署が表示されます。後述の「ホスト情報の編集」で編集する事が出来ます。
使用者	DHCP クライアントの使用者が表示されます。後述の「ホスト情報の編集」で編集する事が出来ます。
MAC アドレス	クライアントの MAC アドレスが表示されます。後述の「ホスト情報の編集」で編集する事が出来ます。リース情報がある場合は、リース情報の MAC アドレスが表示されます。
割当ポリシー	「対象」である場合は、「割当ポリシー」の対象となります。 「対象外」の場合は、「割当ポリシー」の対象とはなりません。
固定 IP アドレス	固定 IP アドレス払い出しの設定を行っている場合は、その IP アドレスが表示されます。後述の「ホスト情報の編集」で編集する事が出来ます。
ホスト名	DHCP クライアントが申告した Host Name option の値が表示されます。
リース IP アドレス	DHCP クライアントに払い出した IP アドレスが表示されます。
有効期限	払い出した IP アドレスの有効期限が表示されます。

編集時には各項目は以下の表内容に従い設定可能です。

項目	値	必須/任意	説明
部署	文字列	任意	部署を入力してください。
使用者	文字列	任意	使用者名を入力してください。
MAC アドレス	16 進数 12 桁 16 進数 2 桁××の コロン区切り 16 進数 2 桁×× の ハイフン区切 り (いずれも大文字 小文字は問わな い)	必須	DHCP クライアントの MAC アド レスを入力してください。リース 情報がある場合は、リース情報の MAC アドレスが入力されていま す。
割当ポリシー	対象/対象外	必須	「対象」にすると、割当ポリシー の対象になります。「対象外」に すると、割当ポリシーの対象外に なります。
固定 IP アドレス	10 進数ドット区 切り	任意	設定された場合、固定 IP アドレ スの設定が適用されます。

※固定 IP アドレス払い出し設定と割当ポリシー対象設定を同時に行った場合、固定 IP アドレス払い出し設定が優先されます。

6.5. ログ

システム設定で Syslog 通知が有効な場合にのみ利用出来ます。

取得内容 ※本体内に保存するログは、1ファイル10MB、過去履歴2件の計30MBまでです。

基本情報 (2) はい いいえ

Syslog設定

送信先 システムと同じ

ファシリティ daemon ▼

表示

選択 選択したものを表示します ▼

操作

保存

基本情報	起動・終了などの基本的な情報
送信先	システム設定と同じものを利用します (個別設定不可)
ファシリティ	ログ出力時のファシリティ
選択	表示するログファイルを選択します。

6.6. メンテナンス



◆ DHCP 設定

エクスポート	DHCP の設定のみをエクスポートします
インポート	DHCP の設定のみをインポートします

◆ ホスト管理

エクスポート	ホスト情報のみを CSV ファイルにエクスポートすることができます。
インポート	ホスト情報のみを CSV ファイルにインポートすることができます。

※ ホスト情報は DHCP 設定のエクスポートにも含まれています。

※ Windows でファイルの編集を行う場合は Shift JIS を選択してください。

※ 囲み文字はダブルクォーテーション(“)で括って下さい。

ホスト管理の CSV ファイルのカラムは以下のとおりです。

カラム	設定項目	説明
1	list name	使用しません。
2	部署	文字列が入ります。
3	使用者	文字列が入ります。
4	MAC アドレス	16 進数コロン区切りの値です。
5	割当ポリシー	対象の場合は「on」、対象外の場合は「off」になります。
6	固定 IP アドレス	10 進数ドット区切りの IP アドレスが入ります。

6.7. 設定編集 (サービスタブで直接編集を有効にしたときだけ表示)

設定編集については、DNS サービスの章を参照ください。内容は同様です。

7. NTP サービスの設定

7.1. サービス

サービス 基本

サービスについて

起動 (2) 有効 無効

操作

保存

動作ログ

Dec 7 17:56:57 n0708d7 ノード「n0708d7」が起動しました
Dec 7 18:09:27 n0708d7 NTPサービスを再起動しました (n0708d7)
Dec 7 18:12:33 n0708d7 NTPサービスを再起動しました (n0708d7)
Dec 7 18:14:23 n0708d7 NTPサービスを再起動しました (n0708d7)
Dec 7 18:14:53 n0708d7 NTPサービスを再起動しました (n0708d7)

◆ サービスについて

起動	起動するかどうか
グループ内での実行ノード数	グループ内で本サービスを実行するノードの数(最大 4)

NTP サービスは時刻が 10 分以上ずれている場合には、サービスが失敗する場合があります。そのため、事前に PC と同期を行ってからサービスを起動してください。

7.2. 基本

サービス
基本

時刻設定 ※本設定項目は、システム→基本の設定値と共通の値です

ntpサーバ1(IPv4) オプションを使う

ntpサーバ2(IPv4) オプションを使う

ntpサーバ2オプション
 burst
 iburst
 prefer
 key ()
 minpoll ()
 maxpoll (10)
 ttl ()
 version ()

ntpサーバ3(IPv4) オプションを使う

ntpサーバ4(IPv6) オプションを使う

ntpサーバ5(IPv6) オプションを使う

ntpサーバ6(IPv6) オプションを使う

操作

◆ 時刻設定について

NTP サーバ 1～3	参照する IPv4 の上位 NTP サーバ及びオプションの値(通常オプションは不要)
NTP サーバ 4～6(IPv6)	参照する IPv6 の上位 NTP サーバ及びオプションの値(通常オプションは不要)

※NTP サーバにて設定可能なオプションは “burst” , “iburst” , “prefer” , “key” , “minpoll” , “maxpoll” , “ttl” , “version” となります。

8. 監視サービスの設定

8.1. サービス

サービス

基本設定 監視対象 監視パターン 監視状況一覧 通知メール本文 SNMP Trap 監視設定追加 メンテナンス

サービスについて

起動 (2) 有効 無効

設定を直接編集する (2) はい いいえ

プロセス操作 (2)

操作

動作ログ

```
Feb 4 17:14:47 n05042f ノード「n05042f」が停止又は再起動を開始しました
Feb 4 17:17:33 n05042f 単独動作モードを開始しました
Feb 4 17:17:42 n05042f ノード「n05042f」が起動しました
Feb 4 17:19:35 n05042f PROXYサービスを有効にしました
Feb 4 17:22:13 n05042f MONITORサービスを有効にしました
```

◆ サービスについて

起動	起動するかどうか
設定を直接編集する	WEB I/F での設定項目では不足の場合など、設定を直接編集したい場合に設定

8.2. 基本設定

サービス 基本設定 監視対象 監視パターン 監視状況一覧 通知メール本文 SNMP Trap 監視設定追加 メンテナンス

メール通知

解説 システムのメール通知設定を利用します。宛先には、監視パターン毎にWEB管理者を選択します。

Syslog通知

解説 システムのSyslog通知設定を利用します。

通知 有効 無効

操作

保存

Syslog 通知	Syslog 通知をする場合に有効にします 通知先の Syslog サーバーは、システムの設定と共通です
ファシリティ	監視結果のファシリティを LOCAL0~LOCAL7 から選択します

8.3. 監視対象

サービス
基本設定
監視対象
監視/リターン
監視状況一覧
通知メール本文
SNMP Trap
監視設定追加
メンテナンス

監視対象

名称

IPアドレス(2)

有効 はい いいえ

操作

一覧

有効無効	名称	アドレス	操作
------	----	------	----

名称	識別用の名称を入力します
IP アドレス	監視対象の IP アドレスまたは IPv6 アドレスを設定します。リンクローカルアドレスを設定する場合には、<リンクローカルアドレス>%<インターフェース名>形式にて指定します。(尚、HTTP ポート監視はリンクローカルアドレスで監視は行えません。)
有効	一時的に無効にしたい場合は、「いいえ」を選択して下さい

8.4. 監視パターン

監視パターン

名称

監視対象 全選択

通知先 全選択

チェック間隔(正常/異常時) 分 / 分

異常時のリトライ回数 回

監視コマンド

有効 はい いいえ

操作

一覧

有効無効	名称	監視対象	操作
------	----	------	----

名称	識別用の名称を入力します。
監視対象	監視対象タブで設定した名称がリストされますので、チェックボタンで選択して下さい。 全選択チェックすることにより監視対象リストを一括で選択/選択解除が行えます。
通知先	メールアドレスが設定されている管理者アカウントがリストされますので、チェックボタンで選択して下さい。 全選択チェックすることにより監視対象リストを一括で選択/選択解除が行えます。
チェック間隔	正常時と異常時のチェック間隔を入力します。
異常時のリトライ回数	異常の判定を行うまでのリトライ回数を指定します。
監視コマンド	ICMP Ping や SSH ポートなどから選択します。ユーザー定義では、nagios 用のコマンドが指定可能です。指定する場合は、/etc/nagios-plugins/config/以下を参照ください。
有効	一時的に無効にしたい場合は、「いいえ」を選択して下さい。

8.5. 監視状況一覧

サービス 基本設定 監視対象 監視パターン 監視状況一覧 通知メール本文 SNMP Trap 監視設定追加 メンテナンス

再ロード

ホスト	サービス	状態	最終チェック	状態継続	繰り返し	状態
TEST1	PING	OK	2015-02-04 13:06:48	0d 0h 1m 9s	1/1	PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 0.41 ms
	nntp	CRITICAL	2015-02-04 13:07:08	0d 0h 0m 49s	1/1	NTP CRITICAL: No response from NTP server
	ssh	CRITICAL	2015-02-04 13:07:28	0d 0h 0m 29s	1/1	CRITICAL - Socket timeout after 10 seconds
TEST2	PING	OK	2015-02-04 13:06:54	0d 0h 1m 3s	1/1	PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 0.54 ms
	nntp	CRITICAL	2015-02-04 13:07:14	0d 0h 0m 43s	1/1	NTP CRITICAL: No response from NTP server
	ssh	OK	2015-02-04 13:07:34	0d 0h 0m 23s	1/1	SSH OK - OpenSSH_4.3 (protocol 2.0)
TEST3	PING	OK	2015-02-04 13:07:01	0d 0h 0m 56s	1/1	PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 0.66 ms
	nntp	CRITICAL	2015-02-04 13:07:21	0d 0h 0m 36s	1/1	NTP CRITICAL: No response from NTP server
	ssh	OK	2015-02-04 13:07:41	0d 0h 0m 16s	1/1	SSH OK - OpenSSH_6.0p1 Debian-4+deb7u2 (protocol 2.0)

監視対象、監視パターン別に結果が表示されます。

8.6. 通知メール本文

通知メール本文

ここで指定した内容の他に、定型の通知内容が記載されます。

障害発生(WARNING) (?)

障害発生(CRITICAL) (?)

復旧 (?)

操作

保存 クリア

障害発生(WARNING)	応答時間が長い、パケットロスがあるなどの、異常の兆候を示す際の通知文章を指定します
障害発生(CRITICAL)	応答が無く、サービスの稼働を確認できない際の通知文章を指定します
復旧	障害発生の後、正常応答が確認できた際の通知文章を指定します。

8.7. SNMP Trap

サービス 基本設定 監視対象 監視パターン 監視状況一覧 通知メール本文 **SNMP Trap** 監視設定追加 メンテナンス

SNMP Trap メール転送

転送する はい いいえ

コミュニティ

通知先 admin

フィルタ ホワイトリスト ブラックリスト 使用しない

操作

転送する	受信した SNMP Trap をメール転送するかどうか
コミュニティ	受信する SNMP Trap のコミュニティ名
通知先	メールアドレスが設定されている管理者アカウントがリストされますので、チェックボタンで選択して下さい
フィルタ	ホワイトリスト/ブラックリストのいずれかの方式を選び、1行1件でキーワードを指定します。

8.8. 監視設定追加

サービス 基本設定 監視対象 監視パターン 監視状況一覧 通知メール本文 **SNMP Trap** **監視設定追加** メンテナンス

プラグイン追加

アップロード (?) 選択されていません

監視コマンド追加

監視コマンド名

監視コマンドライン (?)

操作

追加プラグイン一覧

ファイル名	操作

監視コマンド一覧

コマンド名称	コマンドライン	操作

◆ プラグイン追加

アップロード	監視に使用する自作のプラグインを EasyBlocks へアップロードする際に使用します。
--------	---

◆ 監視コマンド追加

監視コマンド名	監視サービス内にて使用するコマンド名を設定します。
監視コマンドライン	設定した監視コマンドに対するコマンドラインを設定します。尚、本項目ではアップロードしたプラグイン使用を前提としている為、自動的にアップロード先のパスを内部的に補完します。

8.9. メンテナンス

サービス 基本設定 監視対象 監視パターン 監視状況一覧 通知メール本文 SNMP Trap 監視設定追加 **メンテナンス**

メンテナンス

エクスポート (2)

インポート (2) 選択されていません

エクスポート	監視の設定のみをエクスポートします
インポート	監視の設定のみをインポートします

8.10. 設定編集 (サービスタブで直接編集を有効にしたときだけ表示)

設定編集については、DNS サービスの章を参照ください。内容は同様です。

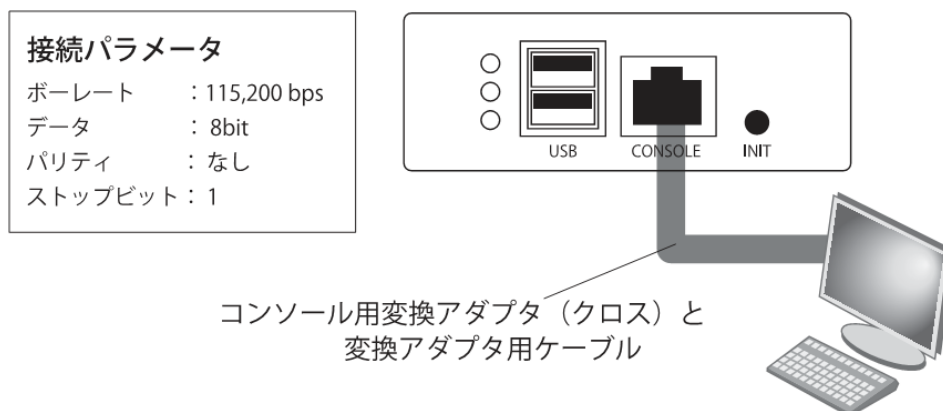
9. その他利用方法

9.1. SSH でログイン

本装置の IP アドレスに対して、SSH クライアントソフトウェア(Teraterm や putty 等)を用いて操作します。出荷時の IP アドレス・パスワード情報は、「出荷時設定情報」を参照ください。なお出荷時設定では、サービスネットワークからの SSH は無効に設定されています。

9.2. シリアルコンソールでログイン

以下の図のように操作用の PC と接続し、シリアルコンソールソフトウェア (Teraterm や putty 等)を用いて操作します。コンソール用変換アダプタは、PC 側のシリアルポートに直接接続します。PC 側にシリアルポートが無い場合は、別途 USB・シリアル変換アダプタ等をご用意ください。



落丁・乱丁の場合はお取替えいたします。

EasyBlocks ユーザーズガイド

ふらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F